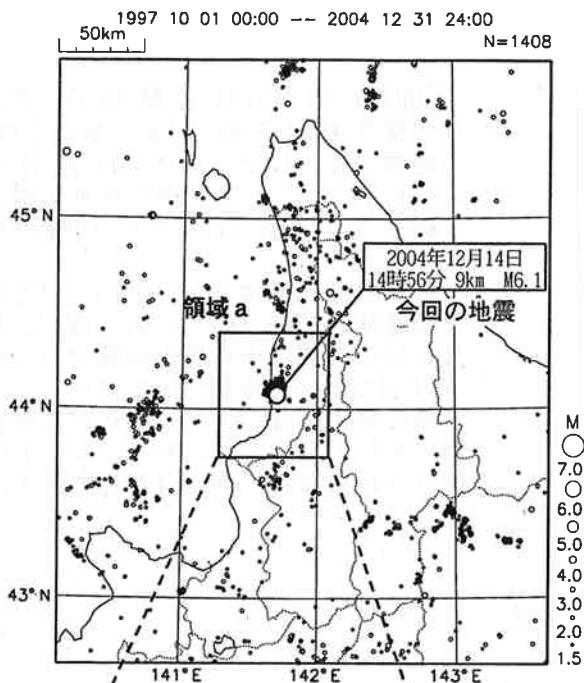


# 12月14日 留萌支庁南部の地震

震央分布図 (1997年10月～、M $\geq$ 1.5)



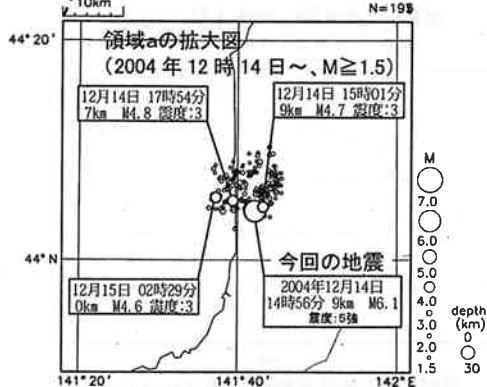
2004年12月14日14時56分に留萌支庁南部の深さ9kmでM6.1(最大震度5強)の地震が発生した。また、同日15時01分にM4.7、17時54分にM4.8、15日02時29分にM4.8の余震が発生した(いずれも最大震度は3)。

本震の発震機構は東南東-西北西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。今回の地震の南約60kmで1995年に発生したM5.9の地震も東西圧縮の逆断層型であり、この地域の東西圧縮の応力場と調和的である。

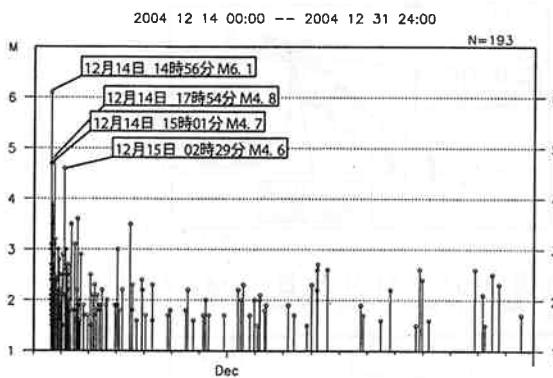
今回の地震の付近では、1910年と1918年にM5.3とM5.8の地震が発生し、小被害が出ている。

また、北海道内陸西部で発生したやや規模の大きな地震は、歪み集中帯で比較的多く発生しているようである。

領域aの拡大図 (2004年12月14日～、M $\geq$ 1.5)

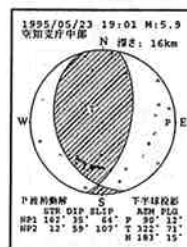


領域a内の地震活動経過図(M $\geq$ 1.5)



発震機構(P波初動解)

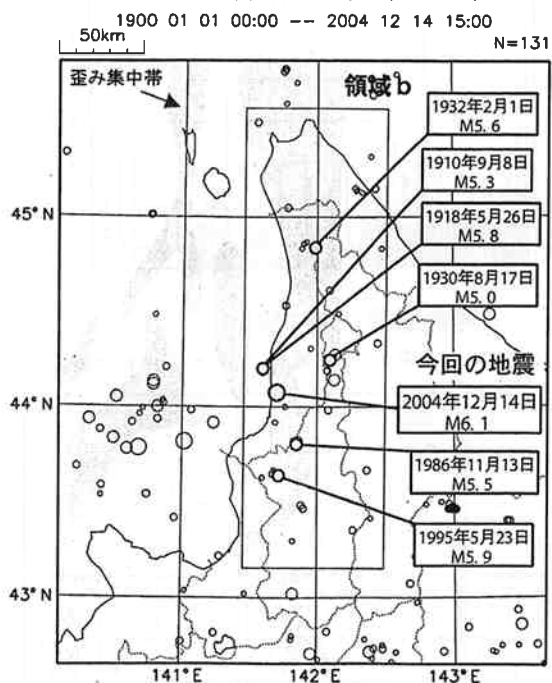
1995年5月23日の地震



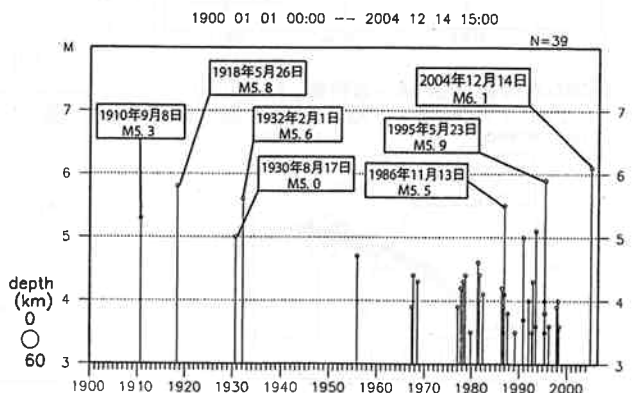
今回の地震



震央分布図(1900年～、M $\geq$ 3.5)



領域b内の地震活動経過図(M $\geq$ 3.5)



※ 震央分布図に表記した歪み集中帯のデータは、「日本海東縁の活断層と地震テクトニクス」(東京大学出版会,2002)を使用した。